

24 宇航基金部 1129001 号

令和 6 年 1 1 月 2 9 日

総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課

課長 扇 慎太郎 様

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

宇宙戦略基金部

部長 内木 悟

(公印省略)

技術開発テーマ「月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証」に関する
公募・審査結果を踏まえた今後の取り扱いについて

平素より宇宙戦略基金事業につきご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、掲題の件について、貴省及び内閣府にて策定されました「宇宙戦略基金 実施方針」を基に、弊機構にて公募及び審査会による審査を実施し、以下の結果となりました。

公募期間：7 月 5 日～8 月 3 0 日

提案件数：1 件

審査結果：採択無し

本技術開発テーマに係る提案については、審査会での議論において、「本研究計画に沿って実行されても、見かけ誘電率を測定し、その地図を作ることはできるが、氷の誘電率が岩石や砂とほとんど変わらないこと、表層密度構造などの様々な要因があることを考慮すると、ある程度類似性がある領域間の水資源存在の有望度の比較がたとえ可能だとしても、「月面の水・氷含有量の推定分布の取得」は達成される見込みがない」ことが不採択理由の一つとなりました。なお、事務局に対しては「第三者を含めた科学コミュニティの協力を得て、本技術開発テーマにおけるセンシング技術の能力/可能性を再評価すること」との指摘もなされ、その対応につき検討を進めているところです。

当該検討については、検討結果が得られ次第改めてお伝えさせていただきますが、現時点、本技術開発テーマ「月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証」については、技術開発を担う実施者が予定されていない状況となっております故、貴省において本技術開発テーマの今後の取り扱いにつきご検討いただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上